

マニュアルの使い方

本製品には次のマニュアルが用意されています。

● **安心してお使いいただくために**
パソコンをお使いになるときに守っていただきたいこと

① **基本編...パソコンがはじめての人も、そうでない人も**
パソコンを使えるようにするまで (Windowsのセットアップ)
パソコン操作の基本
文字の入力
インターネットへの接続
電子メールを使う
パソコン本体の機能

② **活用編...もっといろいろなことができる**
すぐに使えるソフトウェアの紹介
周辺機器を使うとき
システム構成の変更やパスワード

③ **困ったときは...わからなくなったら**
よくある質問とその解決方法
パソコンを購入時の状態に戻す (再セットアップ)

● **インターネットに接続しよう!...外の世界へ出てみよう**
インターネットに接続する方法

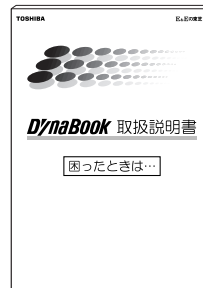
● **オンラインマニュアル**
すぐに使えるソフトウェアの紹介
こんなことがしたい
困ったときは
パソコン用語集 *本製品の電源を入れたときに見ることができます。

マニュアルは、本製品の使い方についてできるだけわかりやすく説明しています。すでにパソコンを使ったことのある方も、必ずお読みください。
お読みになった後も、いつでも取り出してご覧になれるよう、保管しておいてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用する上での注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、[スタート]メニュー-[はじめに]-[リリース情報]をクリックするとご覧になります。



《 本書 》

もくじ

マニュアルの使い方	1
もくじ	2

1 章 困ったときは

1 Q&A を見る前に	6
2 Q&A 集	10
1. 電源を入れるとき / 切るとき	10
電源が入らない / システムが起動しない	10
自動的にプログラムが実行される	11
電源が切れる	12
電源が切れない	13
電源が入ってしまう	13
2. 表示 / 画面について	14
画面に何も表示されない	14
画面が見にくい	15
タスクバー / ウィンドウの表示	16
ファイルが見つからない	17
3. アプリケーションについて	18
アプリケーションをインストール / 削除したい	18
アプリケーションが使えない	19
4. 印刷について	20
印刷ができない	20
5. キーボード・マウス・アキュポイント について	22
思うように文字が入力できない	22
マウス / キーボードが使えない	25
6. 周辺機器について	27
周辺機器について	27
フロッピーディスクについて	27
CD-RW / DVD-ROM 装置または CD-RW 装置について	30
PC カードについて	34
USB 対応機器について	35
光デジタル対応機器について	36
i.LINK (IEEE1394) 対応機器について	36
LAN 機能が使えない	37

7. 音量について	38
スピーカから音が聞こえない	38
おかしな音が聞こえる	41
8. インターネット/メール機能について	42
回線が繋がらない/切断される	42
Internet Explorer を使うとき	54
Outlook Express を使うとき	56
その他	65
9. 調子がおかしい!	68
テレビ、ラジオに障害が出る	68
休止状態にならない	68
パソコンの動作がおかしい	69
その他調子がおかしい	71
10. 不明なメッセージが出た!	72
11. 異常や故障の場合	74
3 東芝 PC サービス・サポートのご案内	75

1
章

2
章

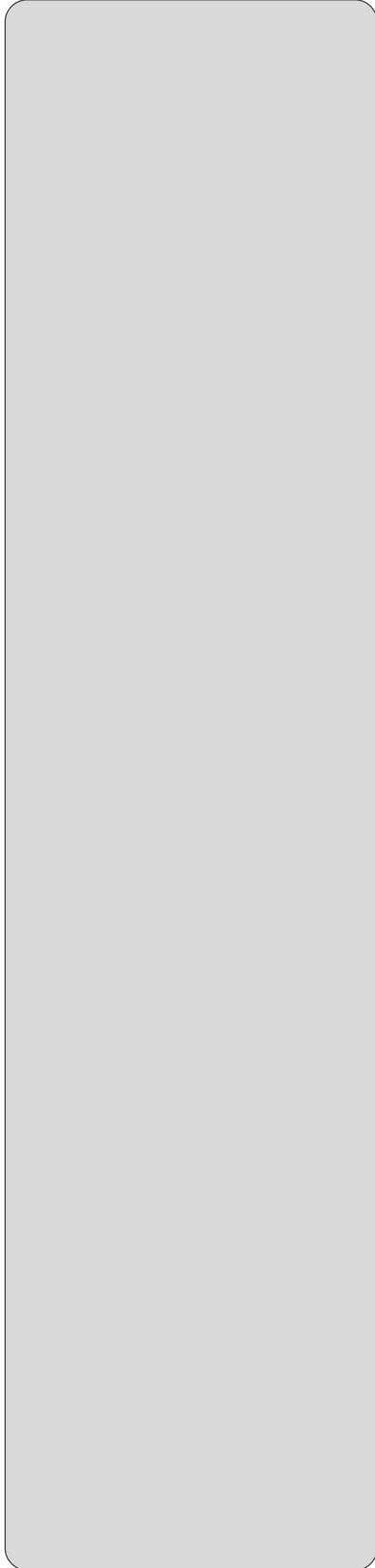
2 章 再セットアップ

1 再セットアップとは	78
1. 再セットアップが必要なとき	78
2. 再セットアップする前に	78
2 カスタム・リカバリ CD とは	79
3 標準システムを復元する	80
1. はじめる前に	80
2. 操作手順	80
4 最小構成でシステムを復元する	82
1. はじめる前に	82
2. 操作手順	83
5 アプリケーションを再インストールする	84
1. 操作手順	84

Trademarks

- Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。
- i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。



1 章

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	Q&A を見る前に	6
2	Q&A 集	10
3	東芝 PC サービス・サポートのご案内	75

1

Q&A を見る前に

本製品を操作していて、思ったようにパソコンが動作しなかったり、メッセージなどが表示され、何をしたらよいかわからなくなったときには、すぐに、故障だ！とあわてないで、本書およびほかの説明書をご覧になり、設定などを確かめてください。

また、トラブルがあった場合、ご自分で作成したデータが消失することがあります。バックアップを取っていないデータを復元することはできませんので、万一の事態に備えて、定期的にバックアップを取るようになしてください。

なお、Windowsやプレインストールされているアプリケーションは、同梱されているカスタム・リカバリCDを使って、ご購入時の状態に戻すことができます。詳しくは「2章 再セットアップ」をご覧ください。

アプリケーションの操作方法がわからない！

『アプリケーションに付属の説明書』、
『アプリケーションのヘルプ』を見る

Windowsの操作方法がわからない！

『Windows Me クイックスタートガイド』、
『ヘルプとサポート』を見る

不明なメッセージが表示された！

表示されたメッセージを控え、
「本章 2-10 不明なメッセージが出た！」を見る



・バックアップ

不慮の事故でデータが消失する場合に備えて、データをコピーしておくこと。少数のファイルなどは、フロッピーディスクやMOディスクに保存する。



・『ヘルプとサポート』の起動方法

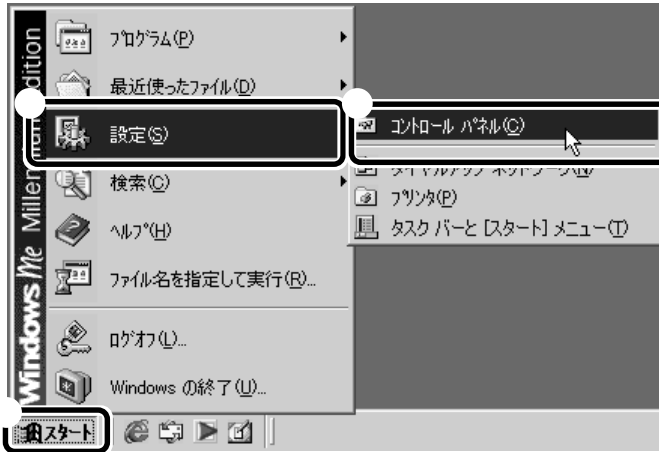
● [スタート]-[ヘルプ]をクリック

コントロールパネルの開き方

設定や確認によく使う、[コントロールパネル]の開き方を説明します。

方法 1 - [スタート]メニューから開く

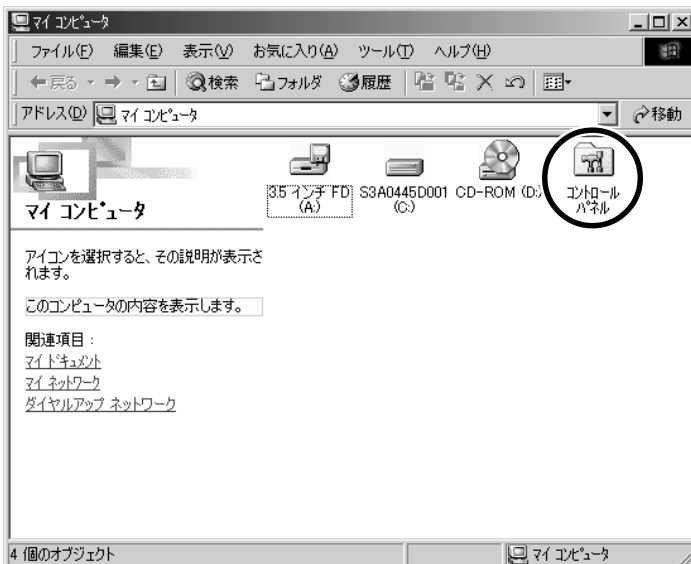
- 1 [スタート]ボタンをクリックする
- 2 [設定]にマウスポインタを合わせる
- 3 [コントロールパネル]をクリックする



(表示例)

方法 2 - [マイコンピュータ]から開く

- 1 デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする
- 2 [コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする



(表示例)

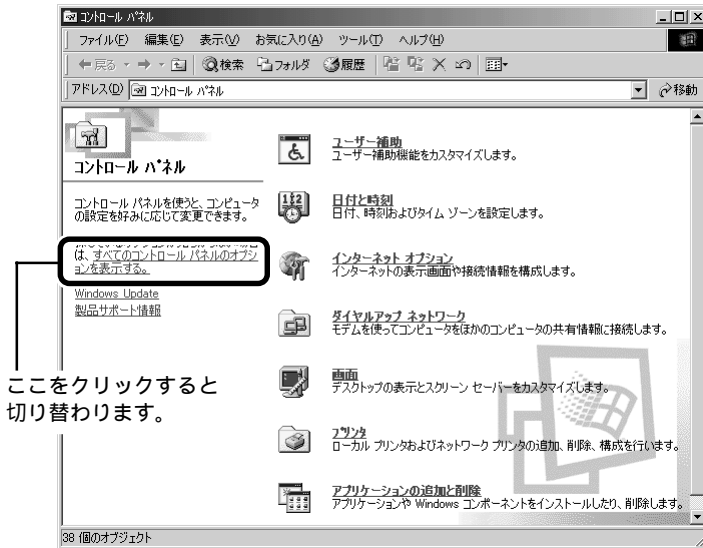
[コントロールパネル]画面

[コントロールパネル]のオプション(アイコン)には次の表示方法があります。
本書では、すべてのオプションを表示している前提で説明しています。

よく使用するオプションのみを表示する

よく使うオプションのアイコンだけを表示します。

各アイコンをクリックするとオプションの画面が開きます。



(表示例)

すべてのオプションを表示する

すべてのアイコンを表示します。

各アイコンをダブルクリックするとオプションの画面が開きます。



(表示例)

コントロールパネルの閉じ方

設定や確認をした後の、[オプション] 画面と [コントロールパネル] 画面の閉じ方を説明します。

1 オプションを閉じる

変更した設定を有効にするかどうかによって、閉じ方が異なります。



(表示例)

画面を閉じます。[適用] ボタンをクリックしていない場合は、設定は何も変更されません。

変更した設定を有効にします。画面は閉じません。

設定を何も変更せずに、画面を閉じます。

変更した設定を有効にし、画面を閉じます。設定を変更すると、[閉じる] に変わる場合があります。

オプションから複数の画面を開いていた場合は、一つ前の画面に戻ります。[閉じる] () ボタンをクリックして、一画面ずつ閉じていきます。

オプションを閉じると、[コントロールパネル] に戻ります。

2 [コントロールパネル] の [閉じる] ボタン () をクリックする

[コントロールパネル] が閉じます。



・[適用] ボタンをクリックした後に、[キャンセル] ボタンまたは[閉じる] () ボタンをクリックしても設定を無効にすることはできません。


1 章


困ったときは

1. 電源を入れるとき / 切るとき



電源が入らない / システムが起動しない


 パソコンの電源が入らない

- 
- 電源スイッチを押す時間が短い
電源スイッチをしばらく押し続けてください。



 一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)

- 
- バッテリーの充電量が少ない
次の操作を行なってください。
- ・本製品用の AC アダプタを接続する
他機種用の AC アダプタは使用できません。
 - ・充電済みのバッテリーパックを取り付ける
-  [バッテリーについて](#) ▶ 『基本編 7 章 7 バッテリー』

 一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)

- 
- 電源の接触が悪い
次の操作を行なってください。
- ・AC アダプタを抜き差しする
 - ・バッテリーパックを抜き差しする
 - ・リセットスイッチを押す
- 
- 危険防止機能が働いた
次の操作を行なってください。
- ・パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待つ
パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5 ~ 35 です。


以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。



・リセットスイッチは、先の細い、丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。

電源を入れたが、システムが起動しない

システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている
フロッピーディスクを取り出してから、パソコンを再起動してください。

 フロッピーディスクの取り出し

▶『基本編 7章 8-2 フロッピーディスクのセットと取り出し』

Windows の起動時に、自動的にスキャンディスクが始まる

前回パソコンを使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った
スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起動します。正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

自動的にプログラムが実行される

Windows の起動と同時にプログラムが実行される

[スタートアップ]にプログラムが設定されている
次の手順でプログラムを削除してください。

- [スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]をクリックする
- [タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ]画面が表示されます。
- [詳細設定]タブの[[スタート]メニュー]で[削除]ボタンをクリックする
- [ショートカットやフォルダの削除]画面が表示されます。
- [スタートアップ]をダブルクリックする
- [スタートアップ]の下にアイコンが表示されます。
- 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除]ボタンをクリックする
- プログラムが[スタートアップ]から削除されます。
- [ショートカットやフォルダの削除]画面で[閉じる]ボタンをクリックする
- [タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする



・アプリケーションをインストールすると、自動的に[スタートアップ]に登録される場合があります。

電源が切れる

パソコン使用中に電源が切れる

危険防止機能が働いた

次の操作を行なってください。

- ・ パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待つ

パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。

温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる

システム自動オフが設定されている

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイ機能を実行、または休止状態にし、システムの動作をオフにするように設定されています。設定を解除してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブルクリックする

[電源設定]タブで利用する省電力モードをクリックし、[詳細]ボタンをクリックする

[省電力]タブで[システムスタンバイ]および[システム休止状態]の設定を[なし]にする


[OK]ボタンをクリックする

警告音が鳴り、Battery LEDが消灯した

バッテリーの充電量が少なくなった

次の操作を行なってください。

- ・ ACアダプタを接続する
- ・ 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

 バッテリーパックの取り付けについて

▶ 『基本編 7章 7-3 バッテリーパックを交換する』




・ バッテリー駆動で使用しているとき、バッテリー充電量がなくなると、電源が切れません。休止状態を有効にしている場合、データを保存せずに電源が切れますので、休止状態を有効に設定することをおすすめします。また、データの保存は、随時行なってください。



参照 休止状態

▶ 『活用編 1章 2-東芝省電力ユーティリティ』

電源が切れない

 電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッ...」と音が鳴り続ける



次の操作を行なってください。

- ・ 電源スイッチを5秒以上押す
- ・ リセットスイッチを押す
- ・ ACアダプタ バッテリパックの順に取りはずし、再度、
バッテリパック ACアダプタの順に取り付ける

電源が入ってしまう

 自動的に電源が入ってしまう



パネルスイッチ機能が設定されている

ディスプレイを閉じると電源が切れる、あるいは作業を中断し、開けると電源が入るように設定されています。設定を解除してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブルクリックする

[電源設定]タブで利用する省電力モードをクリックし、
[詳細]ボタンをクリックする


[動作]タブで[コンピュータを閉じたとき]の設定を[何もしない]にする

[OK]ボタンをクリックする

2. 表示 / 画面について

画面に何も表示されない

画面に何も表示されない


(Power  LED が点灯していない、またはオレンジ点灯している場合)



電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっている電源スイッチを押してください。

 スタンバイ機能について ▶『基本編 1章 3 作業を中断する』

画面に何も表示されない

(Power  LED が点灯している場合)



表示自動停止機能が働いた次の操作を行なってください。

- ・ (Shift)キーや (Ctrl)キーを押す
- ・ マウスやアキュポイント を動かす



インスタントセキュリティ (表示自動停止) 機能が働いた次の操作を行なってください。

- ・ パスワードを設定していない場合
(Enter)キーまたは (F1)キーを押す
- ・ パスワードを設定している場合
パスワードを入力し、(Enter)キーを押す
画面には何も表示されませんが、パスワードを入力します。

 パスワード ▶『活用編 4章 3 パスワードについて』



表示装置が外部 CRT に設定されている次の操作を行なってください。

- ・ (Fn)+(F5)キーを押して表示装置を切り替える

 詳細について

▶『活用編 3章 9 CRT ディスプレイを接続する』



・ CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。故障ではありません。



・ パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。

・ パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書(お客様ご自身を確認できる物)の提示が必要となります。

画面が見にくい



画面が見にくい



ディスプレイを見やすい角度に変える



画面が暗い



画面の輝度が低く設定されている

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブルクリックする

[電源設定]タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする

[省電力]タブで[モニタの輝度]を設定する

[OK]ボタンをクリックする



サイドライト用の冷陰極管が消耗している

お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。



画面の外に黒い枠が表示される



低い解像度で設定されている

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする

[設定]タブの[画面の領域]で領域サイズを変更する

[OK]ボタンをクリックする



色が汚い



少ない色数で設定されている

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする

[設定]タブで[色]を[High Color]や[True Color]に変更する

[OK]ボタンをクリックする



・ディスプレイに取り付けられているサイドライト用のFL管(冷陰極管)は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。



・解像度によっては[True Color]に設定できません。

画面の領域や色を変更できない

[ディスプレイ]の設定があっていない
次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで[ディスプレイアダプタ]が正しく設定されているか確認する

[OK]ボタンをクリックする

CRTディスプレイで画面の色がにじんだように表示される

ほかの電気製品の影響を受けている
テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。



・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合があります。

タスクバー/ウィンドウの表示

スタートボタン/タスクバーが表示されない

タスクバーの高さを低く設定している
次の手順で調節してください。

マウスポインタを画面下に移動する

マウスポインタの形状が上下(↑↓)の矢印に変わったら、マウスポインタを上方向にドラッグする

適度な位置でドロップする

タスクバーが[自動的に隠す]という設定になっている
次の手順で設定を変更してください。

[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー]をクリックする

[タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで[自動的に隠す]のチェック(☑)をはずす

[OK]ボタンをクリックする

使用していたウィンドウが見えなくなった


ほかのウィンドウの下に隠れている
タスクバーに表示されている、使用していたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。
他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっていた場合は、一番手前に表示されます。

ウィンドウが画面から切れて表示される

ウィンドウの位置が画面の端にずれている
次の手順で調節してください。
マウスポインタをタイトルバーに合わせる
上下左右方向にドラッグする
適度な位置でドロップする

ファイルが見つからない

ファイルを保存した場所がわからない

[検索] 機能を使って検索する
次の手順で検索してください。
[スタート] - [検索] - [ファイルやフォルダ] をクリックする
[ファイルまたはフォルダの名前] 欄に探したいファイルの名前を入力する
[探す場所] の  をクリックし、表示される一覧から検索する場所を選択し、クリックする
[検索開始] ボタンをクリックする
ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示されます。
目的のファイルが表示されたら、ファイル名をダブルクリックして開く
目的のファイルが検索されなかった場合は、ファイル名や探す場所など条件を変更して再度検索してください。

3. アプリケーションについて

アプリケーションの使い方については、『アプリケーションに付属の説明書』またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

アプリケーションをインストール/削除したい

アプリケーションをインストールしたい



[アプリケーションの追加と削除]で行う
『活用編 2 章 2 アプリケーションを追加する』をご覧ください。

使わないアプリケーションを削除したい



[アプリケーションの追加と削除]で行う
『活用編 2 章 3 アプリケーションを削除する』をご覧ください。

プレインストールされていたアプリケーションを削除してしまった



「アプリケーション&ドライバ CD-ROM」から再インストールする
本製品にプレインストールされていたアプリケーションやドライバは、一度削除しても「アプリケーション&ドライバ CD-ROM」を使用して再インストールできます。



再インストールについて

▶ 「2 章 5 アプリケーションを再インストールする」

インストールできない



ほかのアプリケーションを実行している
実行中のアプリケーションをすべて終了してからインストールしてください。
電話回線を使用中のときは、回線を切断してからインストールしてください。




インストール先が A ドライブになっている
インストール先をハードディスク装置（ご購入時の状態では C ドライブ）に変更してください。





ハードディスクの空き容量が足りない
ハードディスクに、アプリケーションをインストールする十分な空き容量がないと、インストールに失敗したり、[ハードディスクの空き容量が足りません]と表示されます。不要なファイルを削除するなどして、ハードディスクの空き容量を増やしてから、再度インストールしてください。

アプリケーションが使えない


アプリケーションが使えない

 正しくインストールしていない
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。


 システムに対応していない
アプリケーションによっては使用できるシステム（OS）が限られているものもあります。
詳しくは、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

 メモリが足りない
アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。
必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

 [メモリの増設](#) ▶ 『活用編 3章 11 メモリを増設する』

 システム構成を変更していない
アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。

アプリケーションが操作できなくなった

 アプリケーションが動作していない
次の手順で強制終了させてください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

(Ctrl) + (Alt) + (Del)キーを押す

[プログラムの強制終了]画面が表示されます。

[応答なし]と表示されているアプリケーションをクリックする

[終了]ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

4. 印刷について

印刷ができない



印刷ができない



プリンタの電源が入っていない

- ・パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直す

正しく接続されていない

- ・接続ケーブルを正しく接続し直してください。



接続しているプリンタと違うプリンタを設定している次の手順で設定を確認してください。

[スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックする

接続しているプリンタのアイコンを右クリックする

表示されるメニューの「通常使うプリンタに設定」をクリックする

「通常使うプリンタに設定」の左にチェック () がつきます。

プリンタが用紙切れ、トナー/インク切れになっている用紙、トナーまたはインクを補充してください。補充については、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。



プリンタが印刷可能な状態になっていない

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認し、印刷可能な状態にしてください。

詳しくは、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。



印刷を実行すると [ファイルへ出力] 画面が表示される



プリンタのプロパティで設定されている

次の手順で設定を変更してください。

[スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックする

接続しているプリンタのアイコンを右クリックする

表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする

プリンタのプロパティ画面が表示されます。

[詳細] タブで [印刷先のポート] を確認する

[FILE(ディスクにファイルを作成)] が選択されている場合は、[LPT1(プリンタポート)] または [LPT1:(ECPプリンタポート)] を選択してください。

[OK] ボタンをクリックする



・手順 で選択するポートは、接続するプリンタによって異なります。詳しくは、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。

スタンバイ状態、休止状態から復帰後、正常に印刷できない

スタンバイ状態、休止状態に対応していないプリンタを使用している
パソコンを再起動してください。

最後まで正しく印刷できない

ECPに対応していないプリンタを使用している
次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝HWセットアップ]をダブルクリックする

[Parallel/Printer]タブで[Parallel Port Mode]を[Standard Bi-directional]に設定する

[OK]ボタンをクリックする

プリンタドライバが古い

プリンタドライバを更新してください。新しいドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードし、ドライバを更新できる場合があります。Windows Updateは[スタート]-[Windows Update]をクリックして行ってください。

上記のすべてを行っても印刷できない

Windowsを終了し、パソコンを再起動する
パソコン本体、プリンタの電源を切り、プリンタを接続し直し、パソコンを再起動してください。

前述のどれを行っても印刷できない

プリンタのセルフテスト(印字テスト)を実行する
プリンタのセルフテスト(印字テスト)ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

5. キーボード・マウス・アキュポイント について

思うように文字が入力できない



キーボードのキーを押しても文字が表示されない



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



半角の「 ` 」(チルダ)が入力できない



(Shift) + [`] キーを押す



「 _ 」(アンダーバー)が入力できない



(Shift) + [_] キーを押す



「 \ 」(バックスラッシュ)が入力できない



Windows (日本語版) では「 \ 」は入力できません。
[\] を押すと ¥ が表示されますが、同じ機能を持ちます。



キーボードの印刷どおりに「 £ 」、「 ¢ 」、「 ¥ 」などの文字が入力できない



本製品で使用している OADG 規格のキーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。

詳しくは、『お使いの日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。

なお、本製品に標準装備している日本語入力システムでは、次の読みで入力すると変換できます。

- ・ £「ぼんど」
- ・ ¢「せんと」
- ・ ¥「おなじ」



・ 日本語入力システムを終了させてください。

記号などで、入力できない文字がある

「文字コード表」を使う

次の手順で文字コード表から希望の文字を探してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システム
ツール]-[文字コード表]をクリックする

[文字コード表]が表示されます。

[フォント名]を選択し、[文字コード表]の使用したい文字をダブルクリックする

[コピー]ボタンをクリックする

文書を開いているアプリケーションのメニューから [編集]-
[貼り付け]をクリックする

文書に手順 で指定した文字が挿入されます。

[IMEパッド]を使う

MS-IMEには[IMEパッド]という機能があります。

この一覧から希望の文字を捜すことができます。

 詳細について ▶ 『基本編 3章 3文字を入力する』

キーを押しても希望の文字が入力できない


文字ロックの状態が合っていない

キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。

(Shift) + (CapsLock英数)キーや、(Fn) + (F11)キー、

(Fn) + (F10)キー、(Alt) + (カタカナひらがな)キーを使って、

文字ロックの状態を合わせてから入力してください。

 詳細について ▶ 『基本編 7章 3キーボード』

キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

キーボードドライバが正しく設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブル
クリックする

[デバイスマネージャ]タブで[キーボード]を[106日
本語(A01)キーボード(Ctrl+英数)]に設定する

[OK] または [閉じる] ボタンをクリックする



・アプリケーションに貼りつけた文字には、手順 で選択したフォントを指定してください。

ひらがなや漢字の入力ができない

日本語入力システムが起動していない

[Alt] + [半/全]キーを押すなど、日本語入力システムを起動してください。

 詳細について

▶ 『基本編 3章 3-1 日本語入力システムとは』

[Alt] + [半/全]キーを押しても、漢字モードにならない

日本語入力システムがインストールされていない
日本語入力システムをインストールしてください。

どのキーを押しても、反応しない

設定は合っているが、希望の文字が入力できない

次の操作を行なってください。

- ・電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す
- ・リセットスイッチを押す

キーを押しつづけたときの文字の入力の速度を変えたい

[キーボードのプロパティ]で速度を調節する
次の手順で入力する速度などを変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[キーボード]をダブルクリックする

[速度]タブの[表示までの待ち時間]や[表示の間隔]のつまみをドラッグして調節する

[OK]ボタンをクリックする



・作成中の文書などを保存してから、電源を切ったり、リセットスイッチを押してください。

キーボードのショートカットキーを知りたい

『ヘルプとサポート』をご覧ください。

[スタート]-[ヘルプ]をクリックする

[ヘルプとサポート]が起動します。

[ホーム]タブで[キーボード、マウス、その他のデバイス]
をクリックする

[キーボードのカスタマイズ]をクリックする

[キーボードショートカットを使う]をクリックする

いろいろなショートカットキーについてのタイトルの一覧
が表示されます。

知りたいタイトルをクリックする

右側に説明が表示されます。

マウス/キーボードが使えない

アキュポイント やマウスを動かしても画面の マウスポインタが動かない(反応しない)


システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードやアキュポイント、またはマウスの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

マウスとパソコン本体が正しく接続されていない

マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。

マウスのプラグを正しく接続してください。

 マウスの取り付け

- ▶ 『基本編 初めてパソコンを使うときには 4 マウスを取り付ける』

ダブルクリックがうまくできない

マウスのクリック速度を調節する

次の手順でマウスのクリック速度を調節してください。

[コントロールパネル]を開き、[マウス]をダブルクリックする

[ボタン]タブで[ダブルクリックの速度]のスライダーバーを変更する

[OK] ボタンをクリックする

マウスポインタの動きが遅い/速い

マウスポインタの速度を調整する

次の手順でマウスポインタの速度を調整してください。

[コントロールパネル]を開き、[マウス]をダブルクリックする

[ポインタオプション]タブで[ポインタの速度]のスライダーバーを変更する

[OK]ボタンをクリックする

マウスの内部が汚れている

マウスの内部を掃除してください。

 参照  『基本編 7章 12-マウス』

USB マウスが使えない

新しいハードウェアとして認識されていない

次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする

[次へ]ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった

電源を切り、プラグを抜いてください。

飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。もし、液体がパソコン内部に入ったときは、電源を切って、ACアダプタとバッテリーパックを抜き、お買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

6. 周辺機器について

周辺機器については『基本編 7章 本体の機能を知ろう』、『活用編 3章 周辺機器を使おう』もあわせてご覧ください。

周辺機器について


周辺機器を取り付けたが、正しく動作しない

システムに対応していない

周辺機器によっては、使用できるシステム(OS)が限られています。Windows Meに対応しているか確認してください。詳しくは、『周辺機器に付属の説明書』をご覧ください。

電源を入れる順序が間違っている

プラグアンドプレイに対応していない周辺機器を取り付ける場合は、パソコン本体の電源を切った状態で周辺機器を取り付け、周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れてください。

 周辺機器の取り付け ▶『活用編 3章 1 周辺機器について』

接続ケーブルが正しく接続されていない


正しく接続し直してください。

フロッピーディスクについて

書き込み(データの保存)ができない


フォーマットされていない

フォーマットされていないフロッピーディスクには、書き込み(データの保存)ができません。フォーマットを行なってください。フォーマット可能な形式は2DDの場合720KB、2HDの場合1.44MBのみになります。

 フォーマット

▶『基本編 7章 8-3 フロッピーディスクを使う前に』

フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっている
フロッピーディスクを書き込み可能状態にしてください。

 書き込み禁止/可能状態について

▶『基本編 7章 8-3 フロッピーディスクを使う前に』

フロッピーディスクの空き容量が少ない

次の操作を行なってください。

- ・ 不要なファイルを削除して、やり直す
- ・ 別のフロッピーディスクを使用する

「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された



新しいフォルダを作って、そこにファイルを作成する作成できるファイル数には制限があります。



フォルダの作成方法

● 『基本編 2章 4 ファイルやフォルダを作る』

ファイルが開けない(読み込みエラーやディスクエラーが表示される)



フロッピーディスクに何らかの問題がある次の手順でチェックしてください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[スキャンディスク]をクリックする

[エラーチェックをするドライブ]で[3.5インチFD(A:)]を選択する

[チェック方法]を選択する

[完全]を選択することをおすすめします。

[開始]ボタンをクリックする

スキャンディスクを開始します。



フロッピーディスク装置のヘッドが汚れている
フロッピーディスク装置のヘッドが汚れると、フロッピーディスクを読むことができなくなります。
市販のクリーニングディスクを使ってフロッピーディスク装置のヘッドをクリーニングしてください。



フロッピーディスク装置が故障している
他のフロッピーディスクをセットし、ファイルが開けるか確認してください。

フォーマットに時間がかかる






Windowsでは、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。




・[エラーを自動的に修復]にチェックをつけると、エラーを自動的に修復します。

FDD/CD-ROM / LED が消えない

CD 電源が ON になっている

FDD/CD-ROM /  LED が点灯し、Power  LED が消灯している場合は、CD 電源が ON になっています。メディア切替スイッチを左へスライドし、OFF にしてください。

 **メディア切替スイッチ**

- 『基本編 7 章 11 メディア切替スイッチ / オーディオプレイボタン』

データを処理している

大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。

LED が消えるまで待ってください。

どうしても消えないときは作業を中断し、リセットスイッチを押して再起動してください。

再起動後、作業を行い、LED が消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスにご連絡ください。

フロッピーディスクからシステムが起動しない

起動する装置がフロッピーディスク装置に設定されていない次の操作を行なってください。

方法 1 -

一時的に起動装置をフロッピーディスク装置に変更する

- ・ **F** キーを押したまま、電源スイッチを押す
フロッピーディスク装置から起動します。

方法 2 - 起動装置の設定を変更する

- ・ [東芝 HW セットアップ] の設定を変更する

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする

[Boot Priority] タブで [Boot Priority Options] を [FDD] が最初になるように設定する

[OK] ボタンをクリックする

次回から、電源を入れると、フロッピーディスク装置から起動します。

CD-RW / DVD-ROM 装置またはCD-RW 装置* について

*ご購入のモデルにより異なります。

CD / DVD にアクセスできない



ディスクトレイがきちんとしまっていない
カチッと音がするまで押し込んでください。



CD / DVD のセット

▶ 『基本編 7 章 9-2 CD / DVD のセットと取り出し』



CD / DVD がきちんとセットされていない
ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。




ディスクトレイ内に異物がある
異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、
故障の原因になります。



CD / DVD が汚れている
汚れている場合は、乾燥した布で拭いてください。それでも
汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布で拭き
取ってください。



CD-RW / DVD-ROM 装置、CD-RW 装置が CD /
DVD を認識していない
FDD / CD-ROM  LED が点滅している間は、まだ認識
されていません。
消灯するまで待つて、再度アクセスしてください。



CD-RW / DVD-ROM 装置、CD-RW 装置のレンズが
汚れている
汚れを市販のレンズクリーナで取り除いてください。

CD / DVD をセットしても自動的に起動しない

自動起動に対応していないCD / DVD を挿入している
自動起動に対応していないCD / DVD は自動起動できません。
『CD / DVD に付属の説明書』などで確認してください。

対応していないときは、次の手順で起動することができます。

デスクトップ上の [マイコンピュータ] をダブルクリックする
CD-RW / DVD-ROM 装置、CD-RW 装置のアイコンをダブルクリックする

CD-ROM のプロパティで自動起動が設定されていない
デバイスマネージャの CD-ROM ドライブのプロパティで自動
通知のチェックがはずれていると自動起動ができません。次
の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル] を開き、[システム] アイコンをダブルクリックする

[デバイスマネージャ] タブで [CD-ROM] の左の + をクリックする

ドライブ名が表示されます。

ドライブ名をクリックする

[プロパティ] ボタンをクリックする

[設定] タブで [挿入の自動通知] のチェック () をつける

[OK] ボタンをクリックする

[システムのプロパティ] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする

「再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックし、再起動する

正しく動作する CD / DVD もあるが、動作しない CD / DVD もある

使用環境の設定が必要な CD / DVD を使用している
各 CD / DVD によって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『CD / DVD に付属の説明書』を読んで、それぞれの CD / DVD に合った環境を設定してください。

読み取れない CD-R、CD-RW を挿入している
CD-R、CD-RW には、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

CD-ROMのデータを読み出せない

音楽CDの再生中に音飛びする



CD-ROM、音楽CDが正しくセットされていない
CD-ROM、音楽CDの表裏を確認し、ディスクトレイの中心
にセットしてください。

CDのセット

▶ 『基本編 7章 9-2 CD / DVDのセットと取り出し』



CD-ROM、音楽CDが汚れている
汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向
かって拭いてください。

CDのお手入れ

▶ 『基本編 7章 12-CD / DVD』



CD-ROM、音楽CDに傷がついている
傷がついているCD-ROM、音楽CDは使えないことがあります。



CD-ROMがシステムに対応していない
アプリケーションなどのCD-ROMは、使用できるシステム
(OS)が限られている場合があります。
『CD-ROMに付属の説明書』をご覧ください。

再生中の動画がとぎれる

動画がなめらかに再生されない



CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいる
CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいるときは、
再生が止まる場合があります。



動画の再生中に、ほかのアプリケーションを実行している
複数のアプリケーションを同時に使うと、動画データの処理
が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生さ
れなくなります。ほかのアプリケーションを終了してください。





動画の再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変更した
動画の再生中にウィンドウの大きさや位置を変更すると、音
とびや画像の乱れの原因になります。

CD / DVD が取り出せない

パソコン本体またはCD-RW / DVD-ROM 装置またはCD-RW 装置の電源が入っていない

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

 電源スイッチ ● 『基本編 7 章 1 各部の名前』

 メディア切替スイッチ


● 『基本編 7 章 11 メディア切替スイッチ / オーディオプレイボタン』

パソコン本体またはCD-RW / DVD-ROM 装置、CD-RW 装置の電源が入らないため、CD / DVD が取り出せない

CD-RW / DVD-ROM 装置、CD-RW 装置のイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押す

イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。

折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。

 イジェクトホール

● 『基本編 7 章 9-2 CD / DVD のセットと取り出し』

PCカードについて

PCカードの挿入が認識されない



PCカードを奥までしっかり差し込む



PCカードの取り付け

▶ 『活用編 3章 2 PCカードを接続する』

PCカードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない



システムに対応していない

PCカードによっては、使用できるシステム（OS）が限られている場合があります。Windows Meに対応しているか確認してください。

詳しくは、『PCカードに付属の説明書』をご覧ください。



コントローラモードが正しくセットされていない

「セットアッププログラム」で [PC CARD] の [Controller Mode] を変更してください。



セットアッププログラム

▶ 『活用編 4章 2 セットアッププログラム』



MS-DOS プロンプト上で使用しようとしている

本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS プロンプト上で PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません（一部の PC カードを除く）。

デバイスとして認識されるが使用できない



IRQ が不足している

次の手順で使用しないデバイスを [デバイスマネージャ] で使用不可にしてください。

[コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする

[デバイスマネージャ] タブで使用しないデバイスをクリックする

[プロパティ] ボタンをクリックする

[XXX のプロパティ] 画面が表示されます。

[全般] タブの [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] にチェック () をつける

[XXX のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

[システムのプロパティ] 画面で [OK] または [閉じる] ボタンをクリックする



・「XXX」には手順 で選択したデバイス名が入ります。

USB対応機器について

USB 対応機器が使えない

正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体と USB 対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。

 USB 対応機器の取り付け

▶ 『活用編 3 章 3 USB 対応機器を接続する』

ドライバが正しくインストールされていない

次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする

[次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。


ドライバが [デバイスマネージャ] で使用不可に設定されている

次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ] タブで [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] をダブルクリックする

ドライバ名が表示されます。

ドライバ名の左に × () がついている場合は、使用不可に設定されています。次の手順で設定を変更してください。

使用不可になっているドライバ名をクリックする

[プロパティ] ボタンをクリックする

[全般] タブの [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] のチェック () をはずす

[OK] ボタンをクリックする

[システムのプロパティ] 画面で [OK]、または [閉じる] ボタンをクリックする

Windows を再起動する

休止状態から復帰後、正常に動作しない

休止状態に対応していない USB 対応機器を接続している USB コネクタから 1 度はずし、再度接続してください。

光デジタル対応機器について



光デジタルオーディオ出力端子に接続した機器から音が鳴らない



正しく接続されていない
ケーブルが、パソコン本体と光デジタル対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。



光デジタル出力が無効に設定されている
次の手順で有効にしてください。

[コントロールパネル]を開き、[ヤマハ DS-XG 設定]をダブルクリックする

[出力]タブで[ON (デジタルソースのみ)]をチェックする

[OK]ボタンをクリックする



光デジタル対応機器のサンプリング周波数が本製品に対応していない

本製品の光デジタルオーディオ出力端子から出力される音声は、サンプリング周波数が48kHzに固定されています。そのため、サンプリング周波数が48kHz以外の機器では、音声は出力されません。接続している機器のサンプリング周波数をご確認ください。

i.LINK (IEEE 1394) 対応機器について



i.LINK 対応機器が使えない



正しく接続されていない
ケーブルが、パソコン本体とi.LINK対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない
次の手順でインストールしてください。

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする

画面の指示に従って操作してください。



i.LINK 対応機器の電源を入れる



Windows を再起動する

LAN機能が使えない

ネットワークに接続できない

ネットワークの設定が正しくない
次の点を確認してください。

- ・ Windows のネットワーク設定を確認する
- ・ 相手先のネットワーク機器（HUB）などの設定を確認する
- ・ ケーブルの状態を確認する

LAN 機能が無効に設定されている
次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで[ネットワークアダプタ]の左の + をクリックする

+ が - に変わり、項目が表示されます。

表示された項目の中から、[Intel(R) PRO/100+MiniPCI]をクリックする

[プロパティ]ボタンをクリックする

[全般]タブで[このハードウェアプロファイルで使用不可にする]のチェック () をはずす

[OK]ボタンをクリックする


[システムのプロパティ]画面に戻ります。


[システムのプロパティ]画面で [OK] または [閉じる] ボタンをクリックする


7. 音量について

スピーカから音が聞こえない

スピーカから音が聞こえない

 ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。


 パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する

 システムスピーカが無効になっている
次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝HWセットアップ]をダブルクリックする

[Hardware Alarm] タブで [System Beep] にチェック () をつける

[OK] ボタンをクリックする

 タスクバーの [ボリュームコントロール] の設定が [ミュート] になっている
次の手順で設定を変更してください。


タスクバーの [音量] アイコンをクリックする


[ミュート] にチェックがついている場合は、チェックをはずす

つまみをドラッグして調整する


つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

 [ボリュームコントロール](#) ▶ 『基本編 7章 6 サウンド機能』

 標準のデバイスドライバが組み込まれていない
サウンドドライバを「アプリケーションドライバ&CD-ROM」から再インストールしてください。

 [再インストール](#)

▶ 「2章 5 アプリケーションを再インストールする」

 標準の [優先するデバイス] が変更されている
次の手順で正しい設定に変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[サウンドとマルチメディア]をダブルクリックする

[オーディオ] タブで [再生] の [優先するデバイス] を正しく設定する

[OK] ボタンをクリックする

サウンドレコーダーで音楽CDからうまく録音できない



ボリュームコントロールの設定を変更する
次の手順で設定を変更してください。

タスクバーの[音量]アイコンをダブルクリックする
[Volume Control]画面が表示されます。

メニューバーの[オプション]-[プロパティ]をクリック
する

[音量の調整]で[録音]にチェックをつける

[表示するコントロール]で[Stereo Out]にチェックを
つける

[OK]ボタンをクリックする

[Recording Control]画面で[Stereo Out]の[選択]
にチェックをつける



サウンドレコーダーで録音した音声データの音質が悪い



録音時のサンプリング周波数が低い

次の手順で設定を変更してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント]-[サウンドレコーダー]をクリックする

[ファイル]-[プロパティ]をクリックする

[詳細]タブで[形式の変換]の[今すぐ変換]ボタンをクリックする

[サウンドの選択]画面が表示されます。

標準で[サウンド名]は、「ラジオの音質」に設定されています。

[属性]欄で属性を選択する

CDの音質の場合、属性は「44.100kHz、16ビット、ステレオ」です。これを目安に属性を選択してください。ただし高音質にすると、データ量が増大し、録音できる時間は短くなります。例えば外部マイクを使用して録音するときは属性をモノラルに設定するなど、なるべくデータ容量を少なくしてください。

[名前を付けて保存]ボタンをクリックする

[名前を付けて保存]画面が表示されます。

[新しいファイル名]に名前を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[サウンドの選択][サウンドのプロパティ]画面をそれぞれ[OK]ボタンをクリックして閉じる

サウンドレコーダーの画面に戻ったら、実際に録音して再生音を確認してください。



・サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、[サウンド名]は「ラジオの音質」に戻ります。もう一度設定し直してください。

おかしい音が聞こえる

パソコン本体からカリカリと変な音がする

ハードディスクが自動保存を行なっているパソコン操作中は、自動的にデータの保存などの内部作業が行われています。その際ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。

極端に異常な音が聞こえるなど、おかしいと思われる状態が発生するときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。

甲高い音がする

ハウリングを起こしている

使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカとでハウリングを起こし、高く大きな音が出ることがあります。

次の方法で調整してください。

- ・外部マイクをパソコン本体から遠ざける
- ・パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調整する
- ・使用しているソフトウェアの設定を変える
- ・ボリュームコントロールの設定で音量を調整する

 ボリュームコントロール ▶ 『基本編 7 章 6 サウンド機能』

テレビやラジオの音が聞こえてくる

モジュラーケーブルがテレビ・ラジオの音を拾っているモジュラーケーブルを延長して、パソコン本体と電話回線を接続している場合は、標準のモジュラーケーブルのみを使用して確認してください。また、モジュラーケーブルにノイズ除去用部品を取り付けてください。それでも解決できない場合は、電話回線自体がノイズを拾っている可能性があります。ご契約の電話会社に相談してください。

1 章

困ったときは

用語

・ハウリング


スピーカから出た音がマイクに入りスピーカに返されると、音が増幅されると、音が繰り返されて発生する高く大きな音のこと。

8. インターネット/メール機能について

回線が繋がらない/切断される

接続できない

モジュラーケーブルが正しく接続されていない
モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。

 モジュラーケーブルの取り付け

▶ 『基本編 4章 2-2 パソコンと電話回線を接続する』

[Internet Explorer] の接続設定が間違っている
次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル] を開き、[インターネットオプション] をダブルクリックする

[接続] タブで [通常の接続でダイヤルする] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする

回線が混雑している

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。


電話回線を使うアプリケーションを使用している
電話回線を使うアプリケーションが起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させた後、接続の操作を行ってください。

ダイヤルアップの設定が間違っている

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。[スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックし、接続に使用するアイコンをダブルクリックして、ダイヤルアップの設定をご確認ください。

アクセスポイントの電話番号が間違っている

アクセスポイントの電話番号を確認し、変更があった場合などには、各アプリケーションの設定を変更してください。また、インターネットの接続設定も変更が必要です。

 インターネット接続の設定

▶ 『基本編 4章 2 インターネットに接続する』



・インターネット無料体験など [Internet Explorer] を使用しない場合、設定を変更する必要はありません。

「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してから、やり直してみてください。」
 または「ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続のアイコンをダブルクリックし、やり直してみてください。」と表示される

[ダイヤルアップネットワーク] の設定が間違っている次の項目の設定に間違いがあると、これらのエラーメッセージが表示され、接続できません。

- ・ダイヤルアップ時のユーザID
- ・ダイヤルアップ時のパスワード
- ・IP アドレス
- ・ネームサーバアドレス

次の手順でそれぞれの設定を確認してください。

[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク] をクリックする

[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。

接続に使用するアイコンをダブルクリックする

[接続] 画面が表示されます。

[ユーザー名] と [パスワード] を確認する

ユーザ名などの設定内容については契約先のプロバイダに連絡し、設定に問題がないか確認してください。

[接続] 画面で [プロパティ] ボタンをクリックする

[XX (接続先)] 画面が表示されます。

[ネットワーク] タブで [使用できるネットワークプロトコル] の [TCP/IP] がチェックされているか確認する

インターネット接続にはTCP/IP 接続だけを使用するので、[NetBEUI] と [IPX/SPX 互換] のチェックをはずしてください

[ネットワーク] タブで [使用できるネットワークプロトコル] の [TCP/IP 設定] ボタンをクリックする

[TCP/IP 設定] 画面が表示されます。

[IP アドレスを指定する] の設定と、[ネームサーバアドレスを指定する] の設定を確認する

設定できないIP アドレスを指定しているか、ネームサーバアドレスを指定するのを忘れている可能性があります。IP アドレスなどの指定はプロバイダにより異なります。契約先のプロバイダに連絡し、設定状態に問題がないか確認してください。

[TCP/IP 設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

[XX (接続先)] 画面で [OK] ボタンをクリックする



ユーザー名またはパスワードが間違っている
 [スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]を
 クリックする

接続に使用するアイコンをダブルクリックする

[接続]画面が表示されます。

[プロパティ]ボタンをクリックする

[XX(接続先)]画面が表示されます。

[セキュリティ]タブの[認証]で[ユーザー名]と[パスワード]が正しく入力されているか確認し、間違っていたら入力し直す

接続をやり直しても同じメッセージが表示される場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。



「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。この問題を解決するには、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせてください。」と表示され、回線が切断される



「ダイヤルアップネットワーク」の設定が間違っている次の手順で設定を確認してください。

[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする

[ダイヤルアップネットワーク]画面が表示されます。

接続に使用するアイコンを右クリックし、表示されるメニューの[プロパティ]をクリックする

[XX(接続先)]画面が表示されます。

[ネットワーク]タブで[使用できるネットワークプロトコル]の[TCP/IP]がチェックされているか確認する

インターネット接続にはTCP/IP接続だけを使用するので、[NetBEUI]と[IPX/SPX互換]のチェックをはずしてください。

[OK]ボタンをクリックする



・パスワードは入力すると*(アスタリスク)で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。

回線が切断される

キャッチホンサービスを受けている

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。

また、次の手順を行うとキャッチホン機能が解除されます。

[コントロールパネル]を開き、[テレフォニー]をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[キャッチホン機能を解除する番号]をチェックし、ボタンをクリックして[*70.]を選択する

[OK]ボタンをクリックする

[ダイヤル中]がしばらく続いた後、「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。しばらくしてから、やり直してください。」と表示される

電話番号の設定が間違っている

次の点をそれぞれ確認してください。

[ダイヤルアップネットワーク]の電話番号の設定

[スタート]-[設定]-[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする

[ダイヤルアップネットワーク]画面が表示されます。

接続に使用するダイヤルアップアイコンを右クリックし、表示されるメニューの[プロパティ]をクリックする

[XX(接続先)]画面が表示されます。

[全般]タブで[電話番号]が正しいか確認する

[OK]ボタンをクリックする

[ダイヤルのプロパティ]の電話番号の設定

[コントロールパネル]を開き、[テレフォニー]をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

次の点を確認する

- ・発信元の市外局番を正しく設定しているか
- ・外線発信番号に不要な数字が登録されていないか

[OK]ボタンをクリックする



・キャッチホンのサービスを利用すると、通話中にかかってきた電話を転送・録音し、通信が切れることはありません。キャッチホンについては、NTTにご相談ください。



・通常は[*70.]です。適切な番号については、ご契約の電話会社にお問い合わせください。



・携帯電話 / PHS を使用して通信する場合は、市外局番に0000(実在しない市外局番)を設定してください。



「モデムは、ほかのダイヤルアップネットワーク接続またはほかのプログラムが使用中です。他の接続を切断するか、プログラムを終了してから、やり直してください。」
「モデムが他のアプリケーションによって使用されています。」と表示される



前回のモデム使用状況が残っている

前回の使用状況によってはモデムが完全に初期化されていない場合があります。

Windowsを終了してパソコンの電源を切り、1分ほどおいてから再度電源を入れてください。



モデムを使うほかのアプリケーションが終了していない
モデムを使用しているほかのアプリケーションを終了させてから、再度接続してください。



「Microsoft ダイヤルアップアダプタがインストールされていないか、または正常に応答しません。コントロールパネルの[ネットワーク]で、ドライバを削除してから、追加し直してください。」と表示され、回線が切断される



[TCP/IP] が組み込まれていない
次の手順で設定し直してください。

TCP/IPの確認

[コントロールパネル]を開き、[ネットワーク]をダブルクリックする

[ネットワーク]画面が表示されます。

[ネットワークの設定]タブで[現在のネットワークコンポーネント]に、TCP/IPが組み込まれているか確認し、表示されていない場合は、[追加]ボタンをクリックする
[ネットワークコンポーネントの種類を選択]画面が表示されます。

[プロトコル]をクリックし、[追加]ボタンをクリックする

[ネットワークプロトコルの選択]画面が表示されます。

[製造元]で[Microsoft] [ネットワークプロトコル]で[TCP/IP]を選択する

[OK]ボタンをクリックする

[ネットワーク]画面で[OK]ボタンをクリックする

メッセージに従って再起動する

[ダイヤルアップアダプタ]が正常に応答しない
次の手順で設定し直してください。

ダイヤルアップアダプタの削除

[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加
と削除]をダブルクリックする

[Windows ファイル] タブの [コンポーネントの種類] で
[通信] を選択し、[詳細] ボタンをクリックする
[通信] 画面が表示されます。

[コンポーネントの種類] で [ダイヤルアップネットワーク]
のチェックをはずし、[OK] ボタンをクリックする

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面で
[OK] ボタンをクリックする

メッセージに従って再起動する

ダイヤルアップアダプタの追加

[コントロールパネル]を開き [アプリケーションの追加と
削除] をダブルクリックする

[Windows ファイル] タブの [コンポーネントの種類] で
[通信] を選択し、[詳細] ボタンをクリックする
[通信] 画面が表示されます。

[コンポーネントの種類] で [ダイヤルアップネットワー
ク] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面で
[OK] ボタンをクリックする

メッセージに従って再起動する



発信音はしているが、呼び出し音が聞こえない
「回線が使用中です。しばらくしてからやり直して
ください。」「回線はビジーです」「応答なし」
「接続を確立できません」と表示される



回線が使用されている
電話機や他のパソコンなどで、その回線を使用していないか
確認してください。



ダイヤル方法の設定が間違っている
次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[テレフォニー]をダブルク
リックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[ダイヤル方法]の[トーン] / [パルス]をご使用の回線
にあわせて設定する

NTTの加入回線の場合、プッシュ回線は[トーン]、ダイ
ヤル回線は[パルス]を選んでください。

また、ISDN回線の場合は[トーン]になります。

どの回線を使っているかは、明細書などご契約の電話会社
との契約書類をご覧ください。

[ダイヤルのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする



「発信音が聞こえません。モデムが電話回線に接
続されているかどうかを確認してください。詳
細については[ヘルプ]をクリックしてくださ
い。」と表示される



モジュラーケーブルが接続されていない
モジュラーケーブルの接続を確認してください。

モジュラーケーブルの取り付け

▶ 『基本編 4章 2-2 パソコンと電話回線を接続する』



・使用しているアプリケー
ションによっては、[パルス]
の場合[10pps] [20pps]
の設定が必要です。詳しく
は、『アプリケーションのヘル
プ』をご覧ください。



内線 / 外線の区別がある電話回線で使用している

0 発信の回線に接続している場合の設定がされていない設定を行う前に、次のことを確認してください。

- ・ 0 発信で外線接続する回線で接続する場合、専用の受話器以外は接続できない場合があります。
- ・ 構内交換機 (PBX) を介した電話回線は、直接モデム装置を接続できない場合があります。詳しくは PBX 設置業者や PBX 装置のお取り扱い元にご確認ください。

0 発信で使用する場合、次の「ダイヤルのプロパティ」と「モデムのプロパティ」の設定を行なってください。

ダイヤルのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[テレフォニー]をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[所在地情報]タブで[外線発信番号]の[市内通話][市外通話]にそれぞれ半角で0(ゼロ)を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする

モデムのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで接続に使用するモデムを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする

[接続]タブで[接続オプション]の[トーンを待ってからダイヤルする]のチェックをはずし、[OK]ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面で[閉じる]ボタンをクリックする



内蔵モデム装置が故障した

落雷などの影響で内蔵モデム装置が故障した場合でも、「発信音が聞こえません」とエラーメッセージが表示されることがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。



・手順 でチェックボックスの表示が薄くなっていて選択できない場合は、[詳細設定]ボタンをクリックし、[追加設定]に[X3]と入力します。

・[接続]タブで[詳細設定]ボタンをクリックした際に、[追加設定]に[&F]と入力されていると、手順 でチェックボックスをはずしても発信できなくなります。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン/パルス、外線発信番号("0")の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期/非同期設定に誤りがあります」と表示される

電話回線の設定が間違っている

次の手順で回線の確認および設定を行なってください。

[コントロールパネル]の[テレフォニー]をダブルクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。必要な項目を確認して設定してください。

- ・[市外局番]にパソコンを設置している場所の市外局番の、最初の0を除いた番号を設定します。
- ・外線発信がある回線の場合は[外線発信番号]を設定します。
- ・[ダイヤル方法]にプッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスをクリックして選びます。

[OK]ボタンをクリックする


文字がおかしくなったり、データの送受信中にエラーが発生する


通信ソフトが正しく設定されていない

通信ソフトのヘルプなどをご覧になり、最大通信速度などをご確認ください。

パソコンの近くでテレビやラジオなどを使っている
テレビやラジオなどは、パソコンから離してご使用ください。
モジュラーケーブルがノイズの影響を受けて正しく通信できないことがあります。


[お気に入り] をクリックすると [インターネット接続ウィザード] が表示される

 [お気に入り] の内容を表示させるには、プロバイダと契約し、インターネットに接続するための設定を完了していることが必要です。

 **参照** インターネットへの接続について

▶ 『基本編 4章 2 インターネットに接続する』

ISDN ターミナルアダプタで、接続はできるが、「ページが表示されません」と表示される

 [ネットワーク] に TCP/IP が 2 つ以上登録されている次の手順で削除してください。

[コントロールパネル] を開き、[ネットワーク] をダブルクリックする

[ネットワークの設定] タブで [現在のネットワークコンポーネント] に [TCP/IP ...] という項目が複数あるときは、その項目をクリックする

[削除] ボタンをクリックする

ターミナルアダプタによっては、インストールするたびに TCP/IP を追加します。パソコンをネットワークに接続しないときは、[現在のネットワークコンポーネント] の項目は、[Microsoft ファミリ ログオン] (または [Microsoft ネットワーククライアント] [ダイヤルアップネットワーク] [TCP/IP] の 3 つだけにしてください。

内蔵モデムで K56flex サイトにうまく接続できない

内蔵モデムの通信モードが合っていない

内蔵モデムの通信モードの設定について、AT コマンドで K56flex を有効にしてください。

また、PBX 経由など、回線品質が NTT の回線と異なる場合は K56flex での接続ができないことがあります。その場合は、AT コマンドで K56flex を無効にして、V.34 モードで接続してください。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで接続に使用するモデムを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする

[接続]タブで[詳細設定]ボタンをクリックする

[接続の詳細設定]画面が表示されます。

[追加設定]に半角英文字で次のように入力する

- ・初期状態 - V90=1 S38=0
- ・K56flex を有効にする場合 - V90=0 S38=1
- ・K56flex を無効にする場合 - V90=0 S38=0

K56flex サイト以外に接続するときは初期状態に戻してください。

[OK]ボタンをクリックする

手順 で選択したモデムのプロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面で [閉じる] ボタンをクリックする

再起動後、K56flex または V.34 モードが有効になります。

 AT コマンドについて ▶ 《オンラインマニュアル》




・K56flex を無効にすると、V.34 モードで接続します。接続時の Max スピードは 33,600bps です。K56flex で接続時の Max スピードは 56,000bps です。どちらの場合も回線状態などの影響で、実際の接続状態は、これより遅くなります。

Windows Update ができない

正しく接続されていない


モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。

 モジュラーケーブルの取り付け

▶ 『基本編 4章 2-2 パソコンと電話回線を接続する』


インターネットプロバイダと契約していない

Windows Update は、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。

 プロバイダの入会方法

▶ 『基本編 4章 2-3 プロバイダと契約する』

また [簡単インターネット] を使用すると、簡単にインターネットへの接続ができます。

 簡単インターネット

▶ 『基本編 4章 2-3-「簡単インターネット」を使う』

Windows ユーザ登録をしていない

Windows Update を利用するには、Windows ユーザ登録を行なってください。

Internet Explorer を使うとき



Internet Explorer で「このページは、インターネットに接続していないと表示できません。」、「要求された Web ページは、オフラインで使用できません。」と表示される



[オフライン] の設定でホームページを見ている一度表示されたホームページは、インターネットに接続しない状態（オフライン）で表示することができますが、ページによっては、インターネットに接続しないと見られない場合があります。

[接続] ボタンをクリックするとオフライン状態が解除され、インターネットに接続して見たいページを表示できます。必要がないときは、[オフライン継続] ボタンをクリックしてください。



Internet Explorer で、今まで見ることができたページを見られなくなった



一時ファイルを削除する
次の手順で操作してください。

メニューバーから [ツール] - [インターネットオプション] をクリックする

[全般] タブで [ファイルの削除] ボタンをクリックする
[ファイルの削除] 画面が表示されます。

[OK] ボタンをクリックする

[インターネットオプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Internet Explorer 画面で [更新] ボタンをクリックする

上記の操作を行ってもページが表示されない場合は、アドレス (URL) が変更になった、または削除された可能性があります。そのホームページの管理者またはプロバイダにお問い合わせください。

Internet Explorerで、ページを開くと文字化けして見られない



文字コードの設定が合っていない
メニューバーから [表示]-[エンコード]-[日本語(自動選択)] をクリックしてください。
[表示]-[エンコード]-[自動選択] に がついていると、日本語の文字コード選択の精度が落ち、文字化けの原因となるのではずしてください。

Internet Explorer 終了時に、切断の確認画面が出なくなった



[ダイヤルアップの設定] で [接続が不要になったとき切断する] にチェックがついていない
次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル] を開き、[インターネットオプション] をダブルクリックする

[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。

[接続] タブで [ダイヤルアップの設定] の [設定] ボタンをクリックする

[XX(接続先)設定] 画面が表示されます。

[ダイヤルアップ設定] の [プロパティ] ボタンをクリックする

[ダイヤル] タブで [接続が不要なときは切断する] にチェック () をつける

[OK] ボタンをクリックする

Internet Explorer の [検索] の内容が正しく表示されない



[検索] 画面のタイトルバーを右クリックし、表示されたメニューから [最新の情報に更新] をクリックする





・外国語のページの場合は [表示]-[エンコード]-表示させたい外国語をクリックします。また、外国語フォントは、Windows Updateでインストールすることができます。



・ツールバーの [更新] をクリックしても [検索ページ] は更新されません。

Outlook Expressを使うとき

 Outlook Express 起動時に自動的にダイヤルしたり、接続確認の画面が表示されるのをやめたい


 起動時にメッセージの送受信を実行する設定になっている次の手順で設定を変更してください。


Outlook Express を起動する

メニューバーの [ツール] - [オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。

[全般] タブで [起動時にメッセージの送受信を実行する] のチェックをはずす

[OK] ボタンをクリックする

 Outlook Express でメッセージ送受信後にダイヤルアップ (プロバイダ) 接続が自動切断されない

 送受信が終了したら切断する設定になっていない次の手順で設定を変更してください。

[スタート] - [設定] - [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする

[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。

接続に使用するアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする


[XX (接続先)] 画面が表示されます。


[ダイヤル] タブで [接続が不要なときは切断する] にチェック () をつける

[OK] ボタンをクリックする



・ダイヤルアップ接続の設定は、「Internet Explorer」と共通です。

 インターネットには接続できるのに、Outlook Expressでメールチェックをすると「メールサーバーにログオンできません。パスワードが拒否されました」と表示される

 メールサーバへの接続パスワードが間違っている次の操作の後、再度接続を行ってください。

メニューバーから [ツール]-[アカウント] をクリックする [インターネットアカウント] 画面が表示されます。

[メール] タブで使用するメールアカウントを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする


[サーバー] タブで [パスワードを保存する] をチェックして [パスワード] にパスワードを入力する

[OK] ボタンをクリックする


[インターネットアカウント] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする

 メールが送れない


[Mail Delivery failed... User unknown] などのメールが戻って来た

 メールアドレスが間違っている

メールアドレスをよく確認して、送信し直してください。また、送り先のメールアドレスが使われていない (有効でない) 場合もあります。

 複数の相手に送るとき、メールアドレスがつながってしまった

同じメールを複数の相手に送る場合は、[宛先] [CC] などのボックス内でメールアドレスを [;] (セミコロン) で区切って入力してください。また、セミコロンのあとにはスペースなどを入れないでください。

 メールの設定が間違っている

メールサーバ名やID、パスワードなどが正しく設定されているか確認してください。



・パスワードは入力すると* (アスタリスク) で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。



接続を切断するまでの時間が短く設定されており、送信が時間内に終わらない

次の手順で接続時間を延長してください。

メニューバーから [ツール]-[アカウント] をクリックする
[インターネットアカウント] 画面が表示されます。

[メール] タブで接続に使用するアカウントを選択し [プロパティ] ボタンをクリックする

[詳細設定] タブで [サーバーのタイムアウト] のつまみをドラッグして調節し、[OK] ボタンをクリックする

[インターネットアカウント] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする



Outlook Express で送ったメールが、文字化けしているといわれた



メールの形式が HTML 形式になっている

次の手順で設定をテキスト形式に変更してください。

Outlook Express を起動する

メニューバーの [ツール]-[オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。

[送信] タブで [メール送信の形式] の [テキスト形式] をチェックする

[OK] ボタンをクリックする



半角のカタカナ、または特殊な記号や漢字を使っている件名や本文に半角のカタカナ、または特殊な記号や漢字を使うと、文字化けする場合があります。半角のカタカナは使わないでください。カタカナや []、・ は全角にして送ってください。

メールで使える文字

● 『基本編 5章 3-9- メールで使える文字』



用語

- ・文字化け
文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。



- ・Outlook Express の初期設定では、HTML 形式でメールを送信しますが、一部のメールソフトでは HTML 形式のメールに対応していません。そのため、受取人がそのメールを読めない場合があります。このような場合には、テキスト形式でメールを送信する必要があります。

ファイルを送付したメールが送れない

添付ファイルのサイズが、プロバイダが定めているサイズの上限より大きい

プロバイダやメールソフトによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

圧縮ソフトを使って、ファイルを圧縮してから送ってください。また、複数のファイルは一度に送らずに、数回に分けて送ってください。メールサイズの上限については、ご契約のプロバイダにご確認ください。

送付したメールの添付ファイルが、文字化けしているといわれた

相手のメールソフトの設定を確認する

送った添付ファイルの変換方式に相手のメールソフトが対応していない場合などに、メールは文字化けします。相手のメールソフトが対応している変換方式をご確認ください。

Outlook Express は [MIME 形式] と [UUENCODE 形式] に対応しています。ご購入時には MIME 形式に設定されています。UUENCODE 形式に変更するには次の操作を行なってください。

メニューバーから [ツール] - [オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。

[送信] タブで [メール送信の形式] の [テキスト形式] をチェックする

[メール送信の形式] の [テキスト形式の設定] ボタンをクリックする

[メッセージ形式] の [UUENCODE] をクリックし、
[OK] ボタンをクリックする

[オプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする
また、メールの相手先の設定が長いファイル名に対応していないことがありますので、添付するファイル名はなるべく 8 桁の英数字にしてください。



・圧縮ソフト

ファイルのサイズを小さく圧縮するソフトウェア。インターネットのホームページや雑誌の付録などから入手できる。[WinZip]、[LHA] など



Outlook Express で受信したメールが文字化けしている



[文字設定の割り当て]の設定が間違っている次の手順で設定を変更してください。

Outlook Express を起動する

メニューバーから [ツール]-[オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。

[読み取り] タブで [フォント] ボタンをクリックする
[エンコード] に [日本語 (自動選択)] があるかどうか確認する

[日本語 (自動選択)] 以外に設定されている場合は [日本語 (自動選択)] をクリックする

[OK] ボタンをクリックする
日本語 (自動選択) になっている場合は、そのまま [OK] ボタンをクリックして画面を閉じてください。

[オプション] 画面の [OK] ボタンをクリックする
文字化けしているメールを開き、メニューバーから [表示]-[エンコード]-[日本語 (自動選択)] をクリックする
画面が表示されたら [はい] ボタンをクリックする
受信したメールによっては画面が表示されないことがあります。

開いているメールを閉じる

[Outlook Express] 画面を閉じる
再度 Outlook Express を起動し、文字化けが直っているか確認してください。



メールの送信元の設定などが間違っている送信元に設定を確認してください。

Outlook Express で添付ファイルが表示できない



クリックしている場所を間違えている
メッセージの差出人や件名が表示されているファイルのファイル名をクリックしてください。



添付ファイルを開く

▶ 『基本編 5 章 3-9- メールに添付されたファイルを開く』



メールソフトが添付ファイルの変換方式に対応していない
使っているメールソフトが受信した添付ファイルの変換方式に対応していない場合などに、文字化けになります。相手のメールソフトの変換方式を確認してください。Outlook Express は [MIME 形式] と [UUENCODE 形式] に対応しています。



自分のパソコンに、対応するアプリケーションがない
添付ファイルに対応するアプリケーションがご自分のパソコンにない場合は、ファイルを開くことはできません。送信元にどのようなアプリケーションで開けるかご確認ください。



添付ファイルが圧縮されている
添付ファイルの拡張子が [.lzh] や [.zip] のとき、ファイルは圧縮されています。いったんハードディスクに保存して、圧縮ソフトなどで解凍してください。



ファイル名に拡張子がない
拡張子のないファイルは、ファイルの属性がわからないため、開けません。
送信元にどのようなファイルか確認し、ファイル名に [.jpg] [.doc] など拡張子を追加してファイルを開いてください。




添付されているファイル名が文字化けしている
ファイル名が長い場合、文字化けしてファイルが開けなくなることがあります。メールの送信元に連絡して、ファイル名を短くして再送してもらってください。



- ・拡張子
ファイル名の「.(ピリオド)」で区切った後ろに付く文字列で、ファイルの属性や内容を表す。
【例】.doc Word で作られたファイル
.jpg JPEG 形式のファイル
- ・圧縮ソフト
ファイルのサイズを小さく圧縮するソフトウェア。インターネットのホームページや雑誌の付録などから入手できる。[WinZip] [LHA] など。

Outlook Express でメールの送受信をした後、インターネットの接続が切断される

 メール送受信が終了したら切断する設定になっている次の手順で設定を変更してください。

メニューバーから [ツール] - [オプション] をクリックする
[接続] タブで [送受信が終了したら切断する] のチェックをはずす

[インターネット接続の設定] の [変更] ボタンをクリックする

[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。


[OK] ボタンをクリックする

[オプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Outlook Express を再起動する

[送受信が完了したら切断する] をオフにすると、送受信が終わってもインターネットの接続は解除されなくなります。

Outlook Express で [BCC] ボックスを表示させたい

 次の手順で設定を変更してください。

Outlook Express を起動する

メニューバーから [メッセージ] - [メッセージの作成] をクリックする


[メッセージの作成] 画面が表示されます。

メニューバーから [表示] - [すべてのヘッダー] をクリックする

[BCC] ボックスが表示されます。[BCC] ボックスを非表示にしたい場合は、再度 [表示] - [すべてのヘッダー] をクリックしてください。



・[CC (Carbon Copy)] は、文書の送り先以外の人にメッセージを送信する際に利用します。[BCC (Blind Carbon Copy)] も同様の役割ですが、[宛先] ボックス、[CC] ボックスに記載された送り先はメッセージの受信者に表示されるのに対し、[BCC] ボックスに記載された送り先は [BCC] ボックスで指定された人にしか表示されません。よって、他の人には知られることなく、メッセージを読んでもらいたい相手がいる場合に利用します。

 Outlook Express でメッセージの日付を指定して検索を実行すると [無効な日付の範囲が選択されました。開始日を終了日より前に選択してください。] と表示される


 開始日・終了日の設定を間違えている


Outlook Express のメッセージの検索は、日付をさかのぼって行われます。

例えば、検索したい期間が 4 月 1 日から 4 月 10 日までの場合は、4 月 10 日から検索をはじめ、4 月 1 日までさかのぼりますので、次のように入力してください。


開始：00/04/10

終了：00/04/01


 新着メールチェックができない

 新着メールチェックの設定が間違っている

『基本編 5 章 4 新着メールをランプで確認する』をご覧ください。「新着メールチェック機能」の設定を確認してください。

 パソコンの電源を切っている

新着メールチェックをするときは、AC アダプタとモジュラーケーブルを接続し、スタンバイ状態、休止状態、または電源の入った状態にしてください。

 インターネット接続のパスワードが保存されていない
インターネットに接続するときのパスワードが保存されていないと、自動的にメールチェックはできません。次の手順でパスワードを保存してください。

[コントロールパネル] を開き、[インターネットオプション] をダブルクリックする

[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。

[接続] タブの [ダイヤルアップの設定] で接続先を選択し、[設定] ボタンをクリックする

[XX (接続先) 設定] 画面が表示されます。

[ダイヤルアップの設定] で [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックする

[インターネットのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする



・パスワードは入力すると* (アスタリスク) で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。



受信メールサーバのパスワードが保存されていない自動的にメールチェックを行う場合、次の手順で受信メールサーバのパスワードを保存してください。

メニューバーから [ツール] - [アカウント] をクリックする [インターネットアカウント] 画面が表示されます。

[メール] タブで使用するメールアカウントを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする

[サーバー] タブで [パスワードを保存する] をチェックして [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックする

[インターネットアカウント] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする



アドレス帳にメールアドレスを登録するとき、
[インターネットの電子メールアドレスは
ASCII文字以外は使用できません。] という
エラーメッセージが表示される



入力したメールアドレスに全角文字や半角カタカナが含まれている

半角英数字で入力し直してください。



アドレス帳にメールアドレスを登録するとき、
[入力された電子メールアドレスは、有効なインターネット電子メールアドレスではありません] と表示される



電子メールアドレスを正しい形式で入力していないメールアドレスは半角英数字で、「XX@XX.XX」の形式で登録されます。入力に誤りがないか確認してください。



・パスワードは入力すると* (アスタリスク) で表示されるため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。

その他



ダイヤル発信時、呼び出し音と同時に断続した「ピー」という音が聞こえる



発信中の端末が情報機器であることを接続先端末に知らせるサイン（コーリングトーン）です。

インターネットやパソコン通信を9600bps以上で接続する場合は問題ありませんが、接続先によっては、接続直後に回線が切断されることがあります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで接続に使用するモデムを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックする

[接続]タブで[詳細設定]ボタンをクリックする

[追加設定]に半角で - C0（マイナスシーゼロ）と入力する

手順 で選択したモデムのプロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面で [閉じる] ボタンをクリックする

Internet Explorer や Outlook Express で ツールバーのボタンの文字を表示させたくない

 それぞれ次の手順で設定を変更してください。

Internet Explorer の設定

Internet Explorer を起動する

メニューバーから [表示] - [ツールバー] - [ユーザー設定] をクリックする

[ツールバーの変更] 画面が表示されます。

[テキストのオプション] を [ボタン名を表示しない] に設定し、[閉じる] ボタンをクリックする

Outlook Express の設定

Outlook Express を起動する

メニューバーから [表示] - [レイアウト] をクリックする
[ウィンドウのレイアウトのプロパティ] 画面が表示されます。

[ツールバーの変更] ボタンをクリックする

[ツールバーの変更] 画面が表示されます。

[テキストのオプション] を [ボタン名を表示しない] に設定し、[閉じる] ボタンをクリックする

[ウィンドウのレイアウトのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする



・手順 で [ボタン名を表示する] に設定すると、もとの表示に戻ります。



・手順 で [ボタン名を表示する] に設定すると、もとの表示に戻ります。

モデムの設定を購入時の状態に戻したい

ハイパーターミナルを利用する

次の手順で操作してください。

この操作では実際に電話発信はしませんので、モデムに電話線を接続する必要はありません。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

使用しているモデム名をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックする

[全般]タブで[ポート]を確認し、[OK]ボタンをクリックする

ハイパーターミナルが扱えるポート番号はCOM1～COM4です。ご使用のモデムがCOM5以降のポート番号に割り当てられている場合は操作できません。COM1～COM4にポートを割り当て直してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[ハイパーターミナル]をクリックする

[接続の設定]画面が表示されます。

[名前]を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[接続方法]を、モデムを割り当てているポート番号にダイレクト接続する設定にする

例えば、COM2に割り当てている場合は[Com2ヘダイレクト]になります。

[Com XXヘダイレクト]を選択すると同時に、国/地域番号、市外局番および電話番号の入力はできなくなります。

[OK]ボタンをクリックする

[Com XXのプロパティ]画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリックする

ハイパーターミナルの白い画面に、「AT&F&W」と入力する

Enterキーを押す

[OK]と表示されます。

メニューバーから[ファイル]-[ハイパーターミナルの終了]をクリックする

[切断してもよろしいですか?]と表示されたら[はい]ボタンをクリックする

[セッションXXXを保存しますか?]と表示されたら[いいえ]ボタンをクリックする

9. 調子がおかしい！

テレビ、ラジオに障害が出る

Q テレビ、ラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行なってください。

- ・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- ・パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- ・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・受信機に屋外アンテナを使う
- ・平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

休止状態にならない

Q 休止状態にならない

A 休止状態に対応していない周辺機器（PCカードなど）を取り付けている

休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてください。

 周辺機器の取りはずし ▶ 『活用編 3章 周辺機器を使おう』

Q スタンバイ状態になってしまう

A 休止状態の設定になっていない

次の手順でそれぞれの設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[東芝省電力]をダブルクリックする

[休止状態]タブで[休止状態をサポートする]にチェック()をつける

[電源設定]タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする


[動作]タブのそれぞれのメニューで[休止状態]を選択する


[OK]ボタンをクリックする


A [スタートアップ]に休止状態の妨げになるアプリケーションが設定されている


[スタートアップ]からそのアプリケーションの登録をはずし、Windowsを再起動してください。

パソコンの動作がおかしい


 バッテリパックは充電したのに、すぐ Battery LED がオレンジ色に点滅する

 バッテリパックの充電機能が低下している別売りのバッテリーパックと交換してください。

 使用中に処理が遅くなる

 CPUの温度が上がった
CPUは高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

 使用中に操作できなくなった

 次の操作を行なってください。

- ・電源スイッチを5秒以上押し続ける
電源が強制切断されます。この場合、保存していないデータは消失します。
- ・リセットスイッチを押す
電源が強制切断されます。この場合、保存していないデータは消失します。
- ・すべての電源を抜いて、再起動する
次の手順で行なってください。

ACアダプタと電源コードをはずしてから、バッテリーをはずす

バッテリーを取り付けてから、ACアダプタと電源コードを取り付ける

再度電源スイッチを押す

パソコンが再起動します。

内蔵時計が合っていない

次の手順で [日付と時刻] を修正してください。

[コントロールパネル] を開き、[日付と時刻] をダブルクリックする

[時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする

「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。

デジタル時計の右端にある上下のボタンで、時刻の修正を行う

[OK] ボタンをクリックする

時計用バッテリーが充電されていない

パソコン本体に AC アダプタを接続し、時計用バッテリーを充電してください。

時計用バッテリーの充電機能が低下している

お近くの保守サービスにご連絡ください。

充電したはずのバッテリーパックを使用しても、パソコンの Battery LED がオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない

自然放電している

バッテリーパックは、使わずに放置していてもバッテリー充電量が少しずつ減っていきます。

しばらく充電して様子を見る

長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパックと交換して充電してください。

それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

その他調子がおかしい

調子がおかしい



強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次のとおりです。

システムが操作不能になったとき以外には行わないでください。

また、この場合、保存していないデータは消去されます。

(Ctrl) + (Alt) + (Del)キーを押す

[プログラムの強制終了]画面が表示されます。

[シャットダウン]ボタンをクリックする

プログラムを強制終了し、電源が切れます。


パソコン本体の電源を入れる

その他調子がおかしい場合



ウイルスに感染している

ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

 ウィルスチェックソフト

▶ 『活用編 1章 2-McAfee VirusScan』

10. 不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧になってもわからない場合、次の点をご確認ください。



「Password = 」と表示される



パスワードが設定されている

[東芝HWセットアップ]または[セットアッププログラム]で設定したパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。



パスワード、キーフロッピーディスク

▶ 『活用編 4章 3 パスワードについて』



「入力されたパスワードが間違っています」と表示される



大文字ロック状態でパスワードを入力した

(Shift)+(CapsLock 英数)キーを押して大文字ロック状態を解除し、再度入力してください。



「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE.. PRESS ANY KEY TO CONTINUE」と表示された



休止状態が無効になったというメッセージです。

電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。



「Previous resume from hibernate failed. Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N] ? 」と表示される



休止状態が無効になったというメッセージです。

電源を切る前の状態は再現できません。(Y)キーを押してください。再度同じメッセージが表示された場合は、(Esc)キーを押してください。

使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので...」というメッセージが表示された

ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった画面の指示に従い、[閉じる]ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。このとき、データは保存されない場合があります。

次のようなメッセージが表示された

「Insert system disk in drive. Press any key when ready」

「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」

「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」

「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」

「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」

「Cannot load DOS press key to retry」

次の操作を行なってください。

- ・ フロッピーディスク装置からフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す
- ・ システムディスクをセットし、何かキーを押す

「Boot sequence is changed.」と表示された

システム起動順番を変更したというメッセージです。指定した装置から起動を開始します。しばらくお待ちください。

C:¥WINDOWS>_と表示される

MS-DOS プロンプトが全画面表示されている次の手順で、MS-DOS プロンプト画面を終了してください。

(E)(X)(I)(T)とキーを押す

(Enter)キーを押す

上記以外のメッセージが表示される

ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧ください。

1.1. 異常や故障の場合

Q. 異常な臭いや過熱に気づいた！

A. 電源を切り、電源コードを抜き、お近くの保守サービスにご連絡ください。

なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・ 使用している機器の名称
- ・ ご購入年月日
- ・ 現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

Q. 操作できない原因がどうしてもわからない

A. 東芝 PC ダイアルにご連絡ください。
ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・ 使用している機器の名称
- ・ ご購入年月日
- ・ 現在の状態

3


東芝PCサービス・サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝PCサービス・サポートのご案内』をご覧ください。

また、東芝へのユーザ登録をしていただくと、会員制インターネット情報サービス『東芝PCメンバーズクラブ』をご利用いただけます。『東芝PCメンバーズクラブ』では、ダウンロードモジュールや、「東芝PCダイヤル」に寄せられたお客様からのご質問に対するQ&A集などをご提供しております。提供しているサービスの主な内容については、本製品に同梱の『東芝PCサービス・サポートのご案内』をご覧ください。

インターネット接続の設定がしてある場合は、プレインストールされている「東芝PCお客様登録」をご利用になると、東芝へのユーザ登録を簡単に行うことができます。

起動方法 1

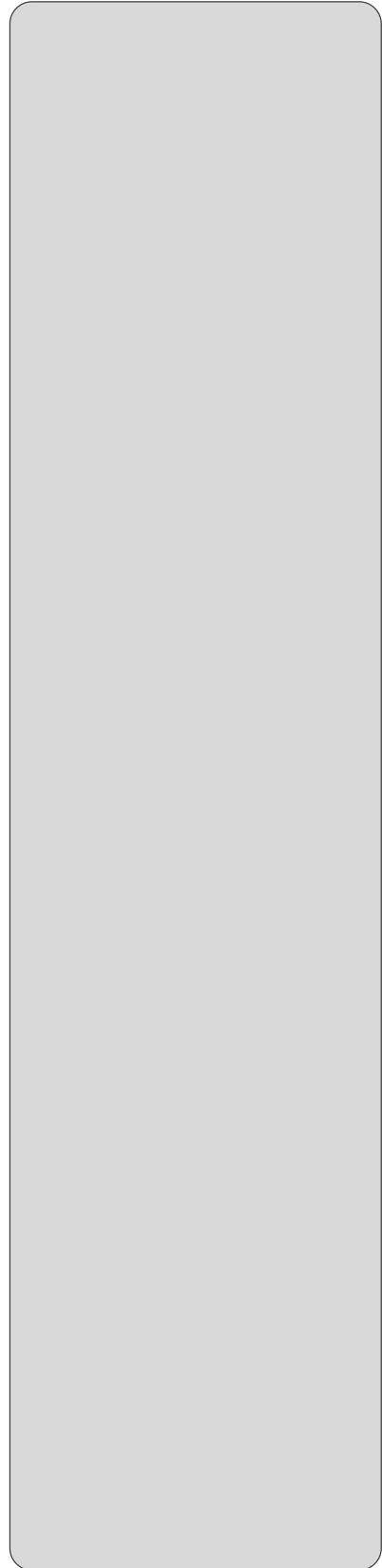
- 1 デスクトップ上の [東芝 PC お客様登録] アイコン () をダブルクリックする

起動方法 2

- 1 [スタート] - [プログラム] - [東芝 PC お客様登録] - [東芝 PC お客様登録] をクリックする

1章

困ったときは



2 章

再セットアップ

本製品に同梱されているカスタム・リカバリ CD を使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態に戻すことができます。
本章では、カスタム・リカバリ CD の使い方について説明します。

1	再セットアップとは	78
2	カスタム・リカバリ CD とは	79
3	標準システムを復元する	80
4	最小構成でシステムを復元する	82
5	アプリケーションを 再インストールする	84

1

再セットアップとは

同梱されているカスタム・リカバリCDを使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

1. 再セットアップが必要なとき

次のようなときに、再セットアップしてください。

Cドライブをフォーマットした

ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった

電源を入れても、システム（Windows）が起動しない

パソコンが正しく動作しない


プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう一度インストールしたい など


2. 再セットアップする前に

「1章 困ったときは」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧ください。解決できないときに再セットアップしてください。

再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

また、インターネットやセットアップシステムなどの設定は、すべてご購入時の状態に戻ります。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

 データを保存する ▶ 『基本編 3章 4 文書を保存する』

 セットアップシステム ▶ 『活用編 4章 セットアップシステム』



・ Outlook Express のデータの保存は Outlook Express のエクスポート機能を使うと便利です。
詳しくは『Outlook Express のヘルプ』をご覧ください。

本製品には次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

Product Recovery CD-ROM

アプリケーション & ドライバ CD-ROM


カスタム・リカバリ CD は再セットアップのときに必要です。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

再セットアップには、次の方法があります。目的に合った再セットアップ方法を選んでください。

システムを復元するときは、「標準システムを復元する」方法で行うことをおすすめします。

標準システムを復元する

システムをご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元します。

 詳細について ▶ 「本章 3 標準システムを復元する」


最小構成でシステムを復元する

Windows を復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。

 詳細について ▶ 「本章 4 最小構成でシステムを復元する」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。

 詳細について ▶ 「本章 5 アプリケーションを再インストールする」



・カスタム・リカバリ CD は絶対になくさないでください。紛失した場合、再発行することはできません。

3

標準システムを復元する

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションをすべて復元し、ご購入時の状態に戻します。

1. はじめる前に

必要なもの

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書 『困ったときは』(本書) 『基本編』


Microsoft® Office 2000 Personal CD-ROM

Microsoft® / Shogakukan Bookshelf® Basic CD-ROM

準備


必要なデータを保存する

システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

 データを保存する ▶ 『基本編 3章 4 文書を保存する』

パソコンを購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずして、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

 周辺機器の取りはずし ▶ 『活用編 3章 周辺機器を使おう』

2. 操作手順

1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る

2 キーボードの(C)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

3 (1)キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。


4 (Y)キーを押す
処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。

5 表示されるメッセージを確認し、何かキーを押す


6 表示されるメッセージに従って復元を行う
「Insert next media and press enter to continue...」(CDを入れ替えるメッセージ)が表示された場合、次のCDをセットし、(Enter)キーを押してください。
処理が続きます。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

7 CDを取り出し、何かキーを押す
システムが再起動します。

8 Windowsのセットアップを行う

 Windowsのセットアップ ▶『基本編 初めてパソコンを使うときには』

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう一度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行なってください。

 周辺機器の接続 ▶『活用編 3章 周辺機器を使おう』

 アプリケーションのインストール

▶『活用編 2章 2 アプリケーションを追加する』

Microsoft Office^{*1} は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されているインストール手順書をご覧のうえ、復元してください。

「おしゃべり for Excel」および「おしゃべり for Word」の組み込み方法は、「東芝音声システムヘルプ」をご覧ください。

*1 : Microsoft® Office
2000 Personalおよび
Shogakukan Book
shelf® Basic

4

最小構成でシステムを復元する

Windows を復元することができます。最小構成でシステムを復元します。

ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされませんので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。

最初構成で復元した場合は、Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、デバイスドライバおよび必要なアプリケーションをインストールしてください。

また、Windows のセットアップ画面が、パソコンのご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元のときと異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

1. はじめる前に

必要なもの


Product Recovery CD-ROM

取扱説明書 『困ったときは』(本書)

準備


必要なデータを保存する

システムの復元を行うと、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

 データを保存する ▶ 『基本編 3 章 4 文書を保存する』

パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずして、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

 周辺機器の取りはずし ▶ 『活用編 3 章 周辺機器を使おう』

プロダクトキー

Product Key を書き写す

最小構成で復元した場合は、Windows セットアップ時に Product Key の入力が必要です。Product Key はパソコン本体裏面に貼られているラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。



- ・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量(ご購入時のディスク使用量)が必要です。


2. 操作手順

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 キーボードの(C)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 3 (2)キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 4 (Y)キーを押す
処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。
- 5 表示されるメッセージを確認し、何かキーを押す
- 6 表示されるメッセージに従って復元を行う
「Insert next media and press enter to continue...」(CDを入れ替えるメッセージ)が表示された場合、次のCDをセットし、何かキーを押してください。
処理が続きます。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。
- 7 CDを取り出し、何かキーを押す
パソコンが再起動し、[最小構成の復元]画面が表示されます。
- 8 表示されるメッセージを確認し、何かキーを押す
[Windows セットアップの確認]画面が表示されます。
- 9 (Enter)キーを押す
Windows セットアップウィザードが起動します。
- 10 Windows のセットアップを行う

セットアップ途中に、[最小構成システムへ復元時に必ずお読みください。]画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、ボタンをクリックするか、(PgUp)キー、(PgDn)キーを使って画面を動かしてください。読み終わったら、[閉じる]ボタン(X)をクリックし、画面を閉じてください。

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう一度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行なってください。

 周辺機器の接続について ▶ 『活用編 3章 周辺機器を使おう』

 アプリケーションのインストール
▶ 『活用編 2章 2 アプリケーションを追加する』

5

アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。

必要なもの

アプリケーション & ドライバ CD-ROM

取扱説明書 『困ったときは』(本書) 『活用編』

1. 操作手順

1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットする

「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」は、複数枚入っている場合があります。

2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

[ファイルのダウンロード]画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する]を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。